

PAT-NO: JP401017605A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01017605 A

TITLE: SET OF DOUBLE-FACE ACCESSORIES OR PERSONAL ORNAMENTS

PUBN-DATE: January 20, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

FREILICH, JOSEPH A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

M FABRIKANT & SONS INC

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP63014796

APPL-DATE: January 27, 1988

INT-CL (IPC): A44C017/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide accessories or personal ornaments with two different beautiful patterns by making first and second set support column-like members bendable to retain jewelries, or rough stone or unfinished jewelry pieces, and holding and showing different jewelries or unfinished jewelry pieces.

CONSTITUTION: Support column-like members 14a, 14b, 14c, etc., of a first set are connected to one surface 12a of a support base 12 while extending in almost the vertical direction to the surface 12a. These members 14 forming a group 16 to be bendable are arranged at a specified interval in order to hold jewelries, or rough stone or unfinished jewelry pieces of specified size such as diamond 18, at the part between the members 14 on the surface 12a of the base 12. Support column-like members 20a, 20b, 20c, etc., of a second set are formed on an opposite surface 12a of the support base 12 while extending in almost the vertical direction to the surface 12b in order to hold color stones such as pearls 22 different in type from diamond, at a part between the members 20 on the opposite surface 12b to the surface 12a on which diamonds are mounted.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭64-17605

⑮ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和64年(1989)1月20日

A 44 C 17/02

8307-3B

審査請求 未請求 請求項の数 7 (全5頁)

⑭ 発明の名称 ダブルフェイス装身具セット

⑯ 特 願 昭63-14796

⑰ 出 願 昭63(1988)1月27日

優先権主張 ⑱ 1987年7月13日 ⑲ 米国(US) ⑳ 07/072,664

㉑ 発 明 者 ジョセフ エイ. フレ アメリカ合衆国, ニューヨーク州 11753, ジェリコ, マ  
イリツチ ジソン アヴェニュー 26㉒ 出 願 人 エム. ファブリカント アメリカ合衆国, ニューヨーク州 10020, ニューヨー  
アンドソンズ, インコ ク, ファイフス アヴェニュー 600  
ーポレーテッド

㉓ 代 理 人 弁理士 金倉 喬二

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

ダブルフェイス装身具セット

## 2. 特許請求の範囲

1. 第1および第2の対向面を有するベースと、このベースに接続されかつベースの第1の側からほぼ直角に延在する第1セットの支柱と、前記ベースに接続されかつベースの第2の側から前記第1の支柱とほぼ整列してほぼ直角に延在する第2セットの支柱とを備え、

第1および第2セットの支柱は、宝石あるいは宝石原石を保持するために曲げることができ、前述した第1および第2の対向面に異なる宝石あるいは宝石原石が保持されかつ陳列されることを特徴とするダブルフェイス装身具セット。

2. 前記ベースは中実ベースであることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のダブルフェイス装身具セット。

3. 前記ベースは、ハート形状であることを特徴とする特許請求の範囲第2項記載のダブルフェイス装身具セット。

ス装身具セット。

4. 前記ベースは、可とう性チェーンとして構成されることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のダブルフェイス装身具セット。

5. 前記装身具セットは、ネックレスの部分構成することを特徴とする特許請求の範囲第4項記載のダブルフェイス装身具セット。

6. 前記第1および第2のセットの支柱が、前記ベースの第1および第2の側に保持される宝石あるいは宝石原石の所定パターンにしたがって、前記ベースの第1および第2の側に配置されることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のダブルフェイス装身具セット。

7. 前記ベースの各側の支柱には、グループ単位で配置され、各グループは、前記ベースの各側に1個の宝石あるいは宝石原石が保持されるようにされたことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のダブルフェイス装身具セット。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、全体として装身具に関し、特に対向する反対側の面に同じパターンで違った宝石あるいは宝石原石が取り付けられて2つの異なった審美的な態様を提供することができる装身具セットに関する。

(従来の技術)

第1のタイプの複数の宝石あるいは宝石原石を特定のパターンで含む第1の装身具を作り、第2のタイプの複数の宝石あるいは宝石原石を同じパターンで含む第2の装身具を作るとは、公知である。例えば、ひとつのハート形状のロケットは、複数のダイヤモンドを特定のパターンで有し、同じハート形状の別のロケットは複数のルビーを同じパターンで有する。

さらに、ダブルフェイス装身具は、例えばUSP 1,894,195により公知であり、この装身具は、対向する反対側の面に位置づけられたダイヤモンドを有する装飾用ビーズチェーンを示している。そして、特にこの場合のダイヤモンドはV字状のくぼみにセットされている。したがって、ダイヤモ

ンドは、千鳥状にくぼみにはめ込まれている。

(発明が解決しようとする課題)

前者の従来技術においては、同じ形状で宝石の種類を変えようとするときには、2個の異なった装身具を用意しなければならず、付加的な製造コストを必要とし、その結果、使用者に余分な費用負担を課すことになる。

また、後者の従来技術においては、チェーンは、それぞれの側で違った宝石あるいは宝石原石を用いて、チェーンの両側において同じパターンを得ることが困難であり、またできたとしてもかなり高価なものとなってしまう。

さらに、本発明に関係する他の特許文献として、USP 260 088, USP 758 847, USP 1 001 377, USP 1 308 011およびUS意匠特許 70 990 273 371を挙げることができる。

したがって、本発明の目的は、上述した従来の問題点を解決するダブルフェイス装身具セットを提供するにある。

本発明の他の目的は、2個の対向する反対側の

面に異なる宝石をあるいは宝石原石を同じパターンで固定されたダブルフェイス装身具セットを提供するにある。

また、本発明の他の目的は、製造コストを低減して2イン1宝石あるいは宝石原石体を持ったダブルフェイス装身具セットを提供するにある。

さらに本発明の他の目的は、きわめて審美的なアピールをするダブルフェイスの装身具セットを提供するにある。

本発明の一実施態様によれば、第1および第2の対向面を有するベースと、このベースに接続されかつベースの第1の側からほぼ直角に延在する第1セットの支柱と、前記ベースに接続されかつベースの第2の側から前記第1の支柱とほぼ整列してほぼ直角に延在する第2セットの支柱とを備え、第1および第2セットの支柱は、宝石あるいは宝石原石を保持するために曲げることができ、前述した第1および第2の対向面に異なる宝石あるいは宝石原石が保持されかつ陳列されることを特徴とするダブルフェイス装身具セットが提供さ

れる。

以下実施例を用いて説明する。

(実施例)

第1図は、本発明の一実施例を示し、同図において、ダブルフェイス装身具セット10は、硬い、あるいはやや硬いあるいは可とう性の支持ベース12を有し、この支持ベース12は、好ましくは、金属材料によって構成されている。この支持ベース12は、以下の説明から明らかな通り、宝石あるいは宝石用原石を取り付けるために、装身具業界で一般的に用いられる任意の形状を取ることができる。

第1セットの支柱14a, 14b, 14c等は、支持ベース12の一面12aに接続され、かつこの表面12aとほぼ直角に延在している。また、これらの支柱14は、グループ16にされており、各グループ16を構成する支柱14は、以下の記述から明らかな通り、折り曲げることができる。

また、これらの支柱14は、グループ16にされており、各グループ16を構成する支柱14は、

互いに所定の距離をおいて配置され、これにより、支持ベース12の表面12a上で前述した支柱14の間に特定のサイズの宝石あるいは宝石原石を受けるようにされている。

たとえば、第2図に示すように、支柱14a, 14b, 14cは、第1のグループ16aとして三角形に配置されてそれらの間に、宝石あるいは宝石原石を受けるようにされる。本例では、この宝石あるいは宝石原石は、ダイヤモンド18である。

まず、第1図に支柱14b, 14eによって示されるように、ダイヤモンド18は、各グループ16の支柱14の間に置かれ、ついで支柱14を折り曲げ、第1図の支柱14g, 14hによって示されるように、支柱14をダイヤモンド18の上に被さるようにし、これによってダイヤモンド18を表面12a上に複数のダイヤモンド18が保持される。

本発明の重要な概念によれば、第2セットの支柱20a, 20b, 20c等は支持ベース12の

対向面、すなわち反対側の面12bに形成され、かつこの対向面12bからほぼ直角に延在している。支柱20は、支柱14と整列して形成されている。すなわち、支柱20aは支柱14aと整列されており、支柱20bは、支柱14bと整列されている。色石、パール22のような違ったタイプの宝石あるいは宝石原石がダイヤモンド18が正しいパターンで取り付けられた面と対向する面12b上の支柱20の間に取り付けられる。

したがって、着用者は、1個の装身具の同じパターンで、違った審美性を表現することができる。さらに、互いに整列された2セットの支柱14, 20を用いることによって、容易にかつ経済的に装身具セットを造ることができ、1個の宝石あるいは宝石原石で、しかも2個の違った態様を作りだすことができる。

もちろん、上述した実施例においては、ダイヤモンド、色石、パールを例示したけれども、ルビー、サファイヤ等の宝石あるいは宝石原石に適用してもよいことはもちろんである。

第3図は、本発明の応用例を示し、特にハート形状のペンダント110を示している。

同図において、第1図および第2図と同じものは、100を付加して示してあり、それらの部分の詳細説明は省略してある。ハート形状のロケット110は、ハート形状のベース112に支柱114が配置されてダイヤモンド118を保持するように構成されている。このベース112の反対側の面には、ここでは図示していないけれども支柱114を整列するように配置された支柱が設けられ、裏側に同じパターンで色石を配置してある。

第4図には、前後に同じパターンで装身具が配置された他の例を示しており、特に十字架120の例を示している。

この十字架120には、ダイヤモンドおよび色石が対向する反対側の面に取り付けられており、同じもので2個の異なった態様を現すようにされている。

第5図ないし第7図は、ネックレス210に本発明を適用した例を示しており、第1図および第

2図と同じものは200を付加して示してある。

これらのネックレス210のベース212は、複数の矩形部分228によって形成され、これらの矩形部分228は、ピボット連結部材230によって旋回可能に各エッジで連結されている。各矩形部分228は、対向した反対側の面に2個の異なった宝石あるいは宝石原石218及び222を取り付けるためのサブベースアセンブリを構成している。いずれの例においても、支柱214, 220は、第1および第2図に関連して説明した支柱14, 20と同じである。

本発明は、前述した実施例に限定されず、本発明の精神を逸脱しない範囲で種々の応用変形が考えられることはもちろんである。

#### 4. 図面の簡単な説明

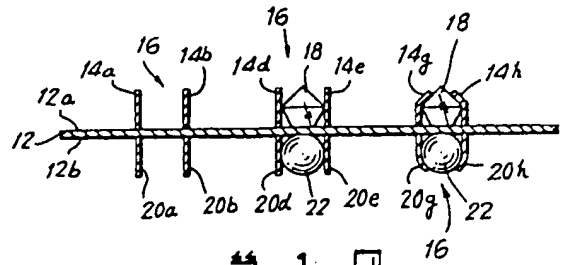
第1図は本発明によるダブルフェイス装身具セットの一部を示す断面図、第2図は本発明によるダブルフェイス装身具セットの一部を示す平面図、第3図は本発明によるダブルフェイス装身具セットの第1の例であるハート形状のペンダントの平

面図、第4図は十字架形状のペンダントの本発明の他の例を示す平面図、第5図は本発明によるダブルフェイス装身具セットの第2の例であるネックレスの平面図、第6図は第5図のネックレスの底面図、第7図は第6図のVII-VII線に沿った断面図である。

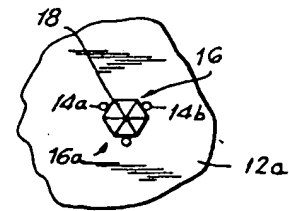
10・・・ダブルフェイス装身具セット 12、  
112、212・・・支持ベース 12a・・・  
表面 12b・・・対向面 14、14a、14b、  
14c、14d、14e、114・・・支柱  
18、118・・・ダイヤモンド 20a、20b、  
20c・・・支柱 22・・・色石あるいはパー  
ル 110・・・ハート形状ペンダント 120  
・・・十字架 210・・・ネックレス 218、  
222・・・宝石あるいは宝石原石 228・・・  
矩形部分 230・・・ピボット連結部材

特 許 出 願 人 エム・ファブリカント・アンド・ソンス、  
インコーポレーテッド

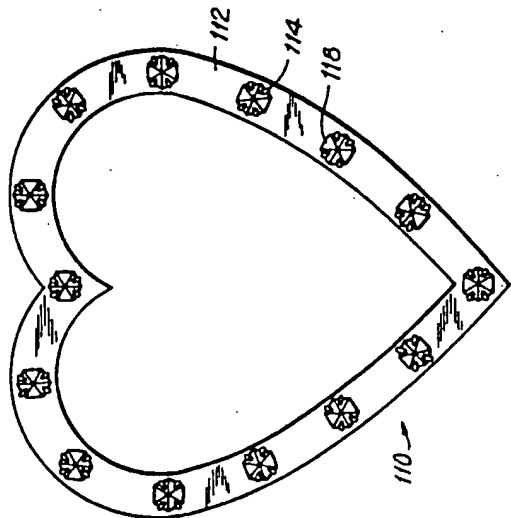
代 理 人 弁理士 金 倉 喬 二



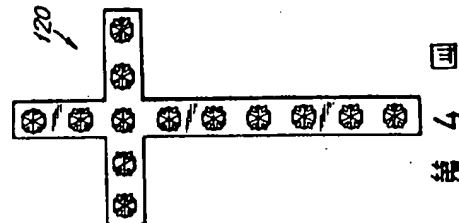
第 1 図



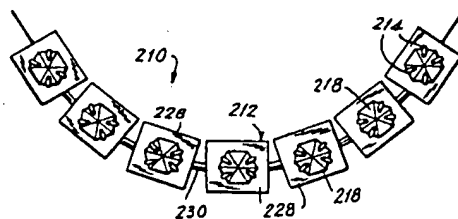
第 2 図



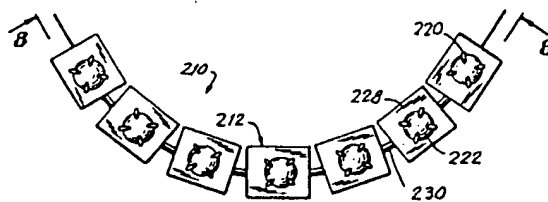
第 3 図



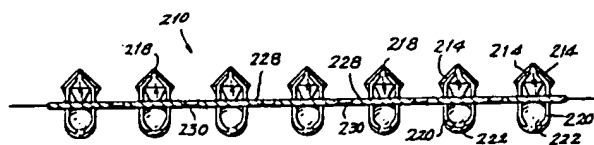
第 4 図



第 5 図



第 6 図



第 7 図